

【機密性2 完全性2 可用性2】

倫理委員会議事要旨

- 1 日 時 令和7年7月28日(月) 15:15~15:30
2 場 所 中会議室(1)
3 出席者 ○自然科学系委員
(医 学) 坂井 副院長(委員長)
遠藤 小児神経科医長(副委員長)
【欠】木村 統括診療部長
(看護学) 西前 看護部長
(薬 学) 増本 薬剤部長
○人文・社会学系委員
(一 般) 頼本 事務部長
河本 企画課長
【欠】西谷 管理課長
(法 曹) 板野 内部委員
(倫 理) 太田 外部委員
平岡 外部委員
本保 外部委員 ※【欠】は欠席
◇記録・・・ 庶務班長

4 議事要旨

【出席人数について】

(内A) 本日は委員10名が出席していますので、本委員会は成立しています。

【前回の議事要旨確認について】

(内A) 前回の議事要旨確認は、平岡外部委員と西前内部委員にお願いします。

****前回の議事要旨が承認された****

【臨床・研究倫理審査の申請について】

令和7年度 受付分

受付番号	職 名	氏 名	研 究 課 題 名
18	看護師	関場 尚美	神経難病病棟で働く看護師が直面する倫理的葛藤
19	看護師	中條 正子	外国出生患者を知り、結核治療中の療養生活を支えるための取り組み
20	脳神経内科医長	原口 俊	神経筋変性疾患のゲノム解析研究
21	第三診療部長	田邊 康之	スモン患者家族あるいは介護者の介護負担について、スモン患者の一人暮らし、痛み、満足度についてのアンケート
22	呼吸器・アレルギー内科 医師	板野 純子	肺結核を合併し急性呼吸不全を呈した抗PL-7抗体陽性の間質性肺炎の1例
23	理学療法士	有 花愛心	正常圧水頭症によりすくみ足が出現し歩行困難となった症例に対して歩行能力の向上のために行った取り組み
24	統括診療部長	木村 五郎	Clinical remission達成後の喘息患者における生物学的製剤中止についての前向き観察研究

(内A) 令和7年度 受付分について。18番(研究計画書について説明)は、以上の説明した研究テーマによって実施する。19番については、問題無しとして、迅速審査とした。20番は、研究期間を延長しただけのため、迅速審査とした。21番は、毎年実施している研究のため迅速審査とした。22番は、発表者からの公表ということで、特に問題無しとして、迅速審査とした。23番は、臨床に関するリハビリ治療の公表ということで、特に問題は無いため、迅速審査とした。24番は、普通の治療を行い、後は観察研究ということで、特に患者に影響を及ぼさないため、迅速審査とした。以上、質問等あればお願いします。

(外B) 19番について。外国出身の結核患者が急増しているとのこと。言葉の壁について、どのような対応をしているのか教えてもらいたい。また、現在の結核患者の状況については如何か。

(内D、H) コミュニケーションについてはポケットークも使用しているが、一番使い勝手が良いのは本人が使用しているスマホの翻訳機能である。色々な手法を駆使して対応している。

(内G) 最近の入院患者数は2～3人程度で10人を超すことは無い状況。日本人の割合は少ない。

(内A) 現在は結核患者数自体が減少しているうえに、入院日数も短縮されているため、入院患者も少なくなっている。

****承認された****

【伝達事項等】

【その他】

・2024年度 臨床研究の実施状況報告書

【本日の議事要旨確認について】

(内A) 本日の議事要旨確認は、太田外部委員と遠藤内部委員にお願いします。

****その他は特に意見なし****

それでは、以上で倫理委員会を終了いたします。

・次回の開催日時 → 9月8日(月) 15時～(受託研究審査委員会、終了後)

上記の議事要旨に相違ないことを確認する。

外部委員署名〔 太田 浩司 〕
内部委員署名〔 遠藤 文香 〕